

国指定重要文化財 高林家住宅

Important cultural property Takabayashi family house

高林家は、和泉国にあった徳川御三卿ごさんきょうのひとつ清水家の領地33ヶ村の内11ヶ村の「大庄屋おおじょうや」として苗字帯刀みょうじたいとうを許される家柄で、江戸時代を通して、この地域で大変重要な役割を果たしてきました。

表門やまとむねを入ると大和棟の主屋が右側に、正面には座敷へ通じる式台しきだい玄関があります。

主屋おもやは天正年間(1573~1592)に建てられた大阪府下で最も古い民家のひとつです。建築後、大庄屋としての格式を整えるために何度かの増改築が行われ19世紀の中頃、現在の姿に整えられました。

敷地内には主屋の他にも土蔵や不動堂、稻荷社があり、山林も含めた敷地全体が、江戸時代の近畿地方の大規模な庄屋の屋敷構えを、現在に伝えています。

The main building is the private house, the oldest in Osaka; it was built during the Tensho era (1573-1592).
The entire premises offer a fine example of the large-scale residence of a Kinki region village headman during the Edo era (1603-1868).



重要文化財

主屋・表門(附 弊串1本) 昭和44年(1969)6月20日指定
米蔵(附 柴納屋)・西蔵(附 土塀)
宅地・山林・溜池及び雑種地 昭和61年(1986)5月24日指定

平成17年(2005)3月 堺市教育委員会







国指定重要文化財 高林家住宅

Important cultural property Takayama family house

高林家は、和歌山にあった熊川御三郎のひひの遠祖家の
領地23ヶ村の内1ヶ村の「大庄屋」として富学華習を誇ら
れる家柄で、江戸時代を通じて、この地域で大庄屋を代別
果たしてきました。
表門を入ると大和様の主屋が右側に、正面には徳政へ違
じる式台家間があります。
主屋は大正年間(1913~1921)建てられた大規模なで義
も古い民家のひとつです。建事後、大庄屋としての格式を
整えるために何度も増改築が行われ19世紀の半頃、現在の
姿に整えられました。
敷地内には主屋の他にも土蔵や茶軒、掃帚屋があり、山
林も含めた敷地全体が、江戸時代の成徳地帯の大規模な庄
屋の屋敷構えを、現在に伝えています。



The main building is the private house, the oldest in Chikuzaki. It was built during the Meiji era (1913-1921).
The entire premises offer a fine example of the large-scale residence of a Kinki region village headman during the Edo era (1603-1868).

平成17年(2005)3月 堺市教育委員会





